

スパークス・韓国株ファンド

(愛称:韓国厳選投資)

特化型 マンスリーレポート

基準日 2022年1月31日

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

【運用実績】

過去のパフォーマンス(%)	直近の分配実績(円)	
	ファンド	参考指数
過去1ヵ月間	-15.56	-11.74
過去3ヵ月間	-15.85	-12.18
過去6ヵ月間	-20.80	-16.68
過去1年間	-8.90	-8.61
過去3年間	37.49	18.04
設定来	35.14	24.79

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。
※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は、「韓国総合株価指数(円ベース)」です。詳細は、本資料6頁をご参照下さい。

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
13,514 円	13,514 円	5.23 億円



※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「韓国総合株価指数(円ベース)」です。詳細は、本資料6頁をご参照下さい。
※基準価額は、信託報酬等控除後です。
※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【資産配分】

資産種類	比率
株式	96.9%
投資信託証券	0.0%
その他株式関連証券	0.0%
現金その他	3.1%
合計	100.0%

【業種別配分】

業種	比率
半導体・半導体製造装置	30.9%
資本財	15.1%
メディア・娯楽	13.1%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	11.8%
素材	11.1%
ヘルスケア機器・サービス	4.7%
ソフトウェア・サービス	3.7%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.6%
食品・飲料・タバコ	2.1%
食品・生活必需品小売り	2.0%
合計	97.1%

【組入れ上位 10 銘柄】(銘柄総数:26銘柄)

No	銘柄名	業種	組入比率
1	SK hynix Inc	半導体・半導体製造装置	9.6%
2	Leeno Industrial Inc.	半導体・半導体製造装置	7.9%
3	Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	7.8%
4	Kyung Dong Navien Co., Ltd.	資本財	5.6%
5	JoyCity Corp.	メディア・娯楽	5.1%
6	Suheung Co. Ltd.	ヘルスケア機器・サービス	4.7%
7	GS Wind Corp.	資本財	4.5%
8	ASIA CEMENT Co., Ltd.	素材	4.4%
9	MiCo Ltd.	半導体・半導体製造装置	4.2%
10	Park Systems Corp.	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。
* 業種別配分の内訳と合計は四捨五入の関係で合わない場合があります。

※上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。
※比率は当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 当資料のご利用に当たっては、次ページ以降の注意事項を必ずお読み下さい。

スパークス・韓国株ファンド (愛称: 韓国厳選投資)

マンスリーレポート
基準日 2022年1月31日

組入上位銘柄の概要

No	銘柄名	銘柄概要
1	SK hynix Inc	SKハイニックス(SK hynix Inc.)は電子部品メーカー。メモリ半導体の製造や、電子部品業界に製品およびサービスを提供。
2	Leeno Industrial Inc.	リノ工業(LEENO Industrial Inc.)は、プリント基板・半導体IC検査機器用の部品メーカー。プリント基板検査用ピン、半導体チップ検査用ソケットなどを手掛ける。
3	Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting	サムスン電子(Samsung Electronics Co., Ltd)は電子機器・電気製品メーカー。半導体、パソコン、周辺機器、モニター、テレビなどをはじめとする民生用ならびに産業用電子機器・製品を製造、販売。エアコン、電子レンジなどの家電製品や、インターネット・アクセス・ネットワーク、携帯電話などの通信機器システムも製造する。
4	Kyung Dong Navien Co., Ltd.	慶東ナビエン[キュントン・ナビエン](Kyung Dong Navien Co., Ltd.)は、ボイラーなどのメーカー。オイルボイラー、ガスボイラー、冷凍機、ヒーター、パイプ、シンク、ガス検知器などを手掛ける。
5	JoyCity Corp.	ジョイシティ(JoyCity Corporation)はインターネット娯楽会社。オンラインゲームの開発、ウェブサイトによる娯楽コンテンツの提供などを手掛ける。
6	Suheung Co. Ltd.	ソフン(Suheung Co., Ltd.)は、医薬品業界向けゼラチン製のハードカプセルとソフトカプセルなどのメーカー。健康・栄養食品とハードカプセル充填機も手掛ける。
7	CS Wind Corp.	CSウインド(CS Wind Corporation)は風力発電機向け支柱の大手メーカー。各国の主要風力タービンメーカーとも緊密な関係を持ち、ベトナム、中国、カナダ、英国、マレーシアなどに事業を展開。
8	ASIA CEMENT Co., Ltd.	アジアセメント(Asia Cement Co., Ltd.)は、セメントメーカー。セメント以外にドライモルタル、生コンクリートなども手掛ける。
9	MiCo Ltd.	ミコ(Mico Ltd)は、半導体部品洗浄サービスの提供や大気圧～中真空の状態において、ガス状の気体原料を送り込み、熱、プラズマ、光などのエネルギーを与えて化学反応を励起・促進して薄膜や微粒子を合成し、基材・基板の表面に吸着・堆積させるCVDなども手掛ける。
10	Park Systems Corp.	パークシステムズ(Park Systems Corp.)は原子間力顕微鏡(AFM)の開発、製造、販売を手掛けるナノ計測機器の専門企業。同社は、半導体向けAFMなど産業用の分野で強みを持つ。

※上記記載は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド 愛称: 韓国厳選投資

マンスリーレポート

基準日 2022 年 1 月 31 日

■市場環境

当月、KOSPI(韓国総合株価指数、韓国ウォンベース)は、前月末比 10.56%下落しました。

現状で投資家の注目の的となっているのはインフレ率です。FRB(米国連邦準備制度理事会)がインフレ抑制に断固として取り組む姿勢を示したこと、新型コロナウイルスの変異種(オミクロン株)の感染拡大によってインフレ圧力が生まれたこと、ウクライナ情勢がこのところ悪化の兆しを見せていることから、当月の市場環境は韓国株式市場にとって好ましくないものとなりました。

さらに、韓国固有の問題も KOSPI 指数を押し下げる要因となりました。建設業の Hyundai Development Company 社の建設現場で崩落事故が発生し、韓国の建設会社の不良施工などの問題が露呈しました。また、歯科インプラントメーカーの Osstem Implant 社での 2,210 億ウォン(約 210 億円)もの横領事件の発生や、高ニッケル正極材等の製造・販売を手掛ける EcoPro BM 社の役員がインサイダー取引容疑で起訴されたことなど、韓国企業の体質や株式市場の公正性を疑問視する声が上がりました。

加えて、3 月の大統領選挙を前にして政治的な先行き不透明感が漂っていることも、投資家の信頼感を損なう要因となりました。総合的に見て、株式市場は先行き不透明感から売り一色の展開となりました。金利が低水準に保たれ、「熱過ぎず冷た過ぎない適度な投資環境」が 25 年間も続いたために、投資家も市場もそれに慣れ切ってしまい、インフレや金融引き締めという言葉がすっかり忘れていたようです。もちろん、市場が不確実性や変化に反応するのは至極当然のことです。しかし足元の反応は過剰であるように見受けられます。銘柄を問わない全面的な売り相場は、優良銘柄を割安に投資する絶好の機会となるでしょう。

■運用状況

当月、当ファンドは前月末比 15.56%下落しました。一方、KOSPI(韓国ウォンベース)をもとに当社が円換算した「KOSPI(韓国総合株価指数、日本円ベース、参照レートはロンドン時間午後 4 時の WM ロイターレート)」は、同 11.74%下落しました。

当月は、Asia Cement(素材)などがパフォーマンスに貢献した一方で、CS Wind(資本財)、Douzone Bizon(ソフトウェア・サービス)などがパフォーマンスにマイナスに影響しました。当月は、SK Hynix(半導体・半導体製造装置)の組入比率を引き上げ、JYP Entertainment(メディア・娯楽)、Boryung Pharmaceutical(医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)などの組入比率を引き下げました。全体として半導体関連銘柄の組入比率を引き上げました。

■銘柄紹介

当月は、当ファンド組入銘柄の「SK Hynix」についてご紹介します。

SK Hynix はメモリ半導体企業で、DRAM(2020 年売上高の 70%)と NAND フラッシュメモリチップ(同 30%)に特化しています。売上高で見ると、同社は DRAM チップで世界第 2 位、NAND フラッシュメモリチップでは同第 3 位です。同社は韓国のほか、中国に製造工場を保有しています。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド 愛称: 韓国厳選投資

マンスリーレポート

基準日 2022 年 1 月 31 日

高度なグラフィックス・プロセッシング・ユニット(GPU)の主要メーカーである NVIDIA 社(米国)など非メモリ半導体企業の PER(株価収益率)は現在 30 倍超となっており、Taiwan Semiconductor Manufacturing Company 社(台湾)の PER は Intel 社(米国)の 2 倍に達しています。台湾企業が収益を大幅に伸ばしながらも米国企業より過小評価されていた頃と比較すると隔世の感があります。市場は今や半導体需要の伸びを既成事実として認めているようです。

ただし、メモリ半導体市場が景気循環に左右されやすいという固定観念は市場に根強く残っています。したがって、業界に少しでも減速の兆しが見られると、多くのメモリ関連銘柄の株価は PBR(株価純資産倍率)1 倍前後にまで下落する傾向にあります。しかし、日本の NAND メーカーであるキオクシア社を PBR2 倍程度の価格で買収する意向を発表し、Western Digital 社(米国)の株価が急騰した一方で、NAND 型メモリより利益率の高い DRAM 型メモリの主要メーカーである SK Hynix のバリュエーションは低水準に留まっています。

米国の半導体企業は業績好調ですが、DRAM 関連銘柄は業界全体が景気循環に左右されやすいことから、株価が低位に推移しています。DRAM 型メモリと NAND 型メモリはどちらも GPU に使用されていますが、非メモリ半導体およびメモリ半導体企業の株価動向とバリュエーションの差は昨年大幅に拡大しました。ただし皮肉なことに、DRAM と NAND の売上高は半導体業界全体を上回るペースで増加しています。市場は NVIDIA 社(米国)を構造的なグロース株と捉え、メモリは純粋な景気敏感株であると考えているようですが、それは誤りであると当ファンドは考えています。当ファンドは韓国のメモリ半導体メーカーを大いに有望視しています。

メモリ半導体業界に共通するテーマは、継続的再編という点です。最先端の DRAM メーカーは 3 社しかなく、新規参入の中国企業を含めても NAND メーカーの数は減少しています。Intel 社が事業を SK Hynix に売却し、キオクシア社と Western Digital 社が合併を模索する中、NAND 業界は、中国企業を含めても 4~5 社に収束するでしょう。SK Hynix は、1 月 28 日の業績発表のプレゼンテーションで、「規模拡大の困難さ」に言及しました。ビット成長あたりの設備投資が増加しているため、以前と同額の投資をしても販売数量の伸びは低くなります。つまり、1) メモリ半導体のサイクルが従来より浅く、短くなり、2) 機器類と部品の需要が増大するということになります。

テクノロジーの移行が限界に達し、困難な工程が増えることで、新製品の開発期間が長期化し、ビット成長率は低下しています。したがって、原材料、部品、機器類の動向は連動したものになるはずですが、当ファンドは組入銘柄である一部の原材料銘柄と機器銘柄についても有望であると考えています。

当ファンドの組入銘柄のファンダメンタルズは、依然として損なわれていないと私どもは考えていますが、今後も慎重に注視し、投資目的との整合性を保っていく方針です。当ファンドは、韓国における事業の魅力と構造改革だけを原動力に持続的かつ長期的な成長を遂げると考えられる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築してまいります。

■今後の見通し

金融市場では年初から急速に株価調整が進みました。FRB が「インフレは一時的である」という当初の見解を撤回して利上げの前倒しを決定したため、金融市場、とりわけバリュエーションの高い株式の株価が調整しました。

過去 2 年間、個人投資家の市場参入が増えたことで、市場の流動性が高く保たれ、株式市場は上昇基調を維持し

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金銭債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド 愛称: 韓国厳選投資

マンスリーレポート

基準日 2022 年 1 月 31 日

てきました。韓国市場では、まず電池、バイオテクノロジー、インターネット、ゲームなど、いわゆる BBIG (Battery、Biotech、Internet、Game) 銘柄が、続いてメタバース(現実世界と異なる三次元の仮想空間)や NFT (非代替性トークン) の関連銘柄が異常とも言える上昇を見せましたが、こうした高バリュエーション銘柄が急激に下落し、株式市場全体に影響を及ぼしたのです。韓国企業の多くはメーカーで、輸出を志向しています。原材料費や物流コストが高まると、企業収益が圧迫されます。コロナ禍がきっかけでデジタル変革に取り組む企業が増加していることも、IT 人材の不足とあいまって、人件費の増加要因となっています。高バリュエーション銘柄の株価下落、コスト圧力、FRB の金融引締めはいずれも株式市場にとって大きな負担です。

利上げとインフレは株式市場にとって全般的に望ましいことではありませんが、株価が異常な水準にまで上昇している高バリュエーション銘柄にとっては、より深刻な影響が及ぶでしょう。今こそ細心の注意を払って銘柄を選択し、「優良企業」を探し出すべき時だと当ファンドは考えています。コスト圧力が原因で業績が期待外れだった企業は、値上げによってそうした問題を軽減でき、今後の業績に寄与すると当ファンドは考えています。今年上半期の業績が改善すれば、それが株価上昇のきっかけとして作用するはずです。物流とサプライチェーンの混乱、人手不足によって発生するコスト圧力を顧客に直接転嫁できる企業とできない企業があるため、今後は両者を見極める必要があります。当ファンドは足元の市場環境を踏まえ、収益モメンタムが良好または改善中で競争力がある企業を中心に、ポートフォリオを調整していきます。

当ファンド組入銘柄は優秀な経営陣、健全なバランスシート、高い競争力を備えているため、コロナ禍収束後には「強さ」に磨きがかかり、リーダーシップが一層強固になると、当ファンドは考えます。当ファンドは、経済状況に関わりなく、「独自の健全なポートフォリオ」によって一貫した収益を生み出し、ファンダメンタルズの分析を通じて「優れた企業」を発掘し続けられるよう、今後も努力を続けてまいります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

ファンドの目的

当ファンドは、主としてスパークス・韓国厳選投資マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

ファンドの特色

1. マザーファンド受益証券を通じて、韓国の優良企業に投資します。

- ◆ ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。
- ◆ 参考指数は KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)※とします。
ただし、参考指数への追従を意図した運用は行いません。
※「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」は、KOSPI(韓国ウォンベース)をもとに委託会社が円換算したものです。

2. 厳選投資します。

ベンチマークは設けず、銘柄を厳選して投資します。(特化型)

※当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

3. 長期保有します。

原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とします。

実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド 愛称: 韓国厳選投資

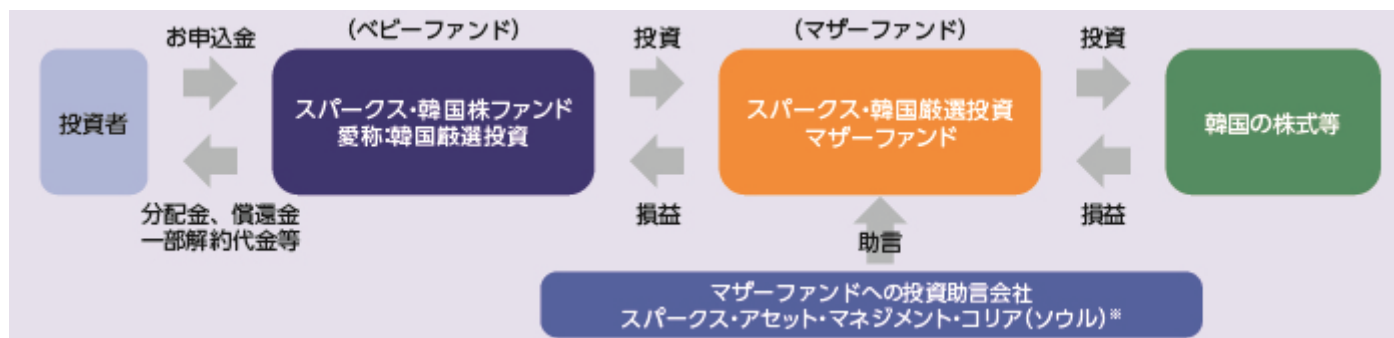
マンスリーレポート

ファンドの仕組み

ファミリーファンド方式※により、韓国の株式等へ実質的に投資を行います。

当ファンドが投資を行うマザーファンドについては、スパークス・アセット・マネジメント・コリア(ソウル)の韓国株式運用チームの投資助言を受け、当社のファンド・マネージャーが投資判断いたします。

※ ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金(ベビーファンド)をマザーファンドに投資し、実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



※ スパークス・アセット・マネジメント・コリアは韓国ソウルに拠点を置くSPARXグループの一員であり、韓国でのボトムアップ・リサーチによる投資活動を強みとする会社です。また、リスク管理およびプロセスにも重点を置いており、それらを独立した組織として運営しています。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社について

◆ 一貫した投資哲学と運用プロセスを実践する独立系運用会社です。

スパークスは、1989年の創業以来、株式市場を取り巻く環境がいかに厳しくとも「マクロはミクロの集積である」という投資哲学の下、ボトムアップ・リサーチを行っております。

親会社であるスパークス・グループ株式会社は JASDAQ 市場(銘柄コード8739)に2001年12月に運用会社として初めて上場いたしました。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて内外の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資しますので為替の変動により、基準価額は変動します。**従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

価格変動リスク

当ファンドは、実質的に海外の株式などを主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うことになります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

カントリーリスク

一般的に海外の株式などに投資する場合、投資対象国・地域の政治、経済、社会情勢の変化等により金融・証券市場が混乱して株式などの価格が大きく変動する可能性があり、基準価額が大きく下落する要因となります。また、新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

為替変動リスク

外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。なお、株式等の値動きに連動する債券については、債券の発行者に起因するリスクのほか、対象とする企業の株価の変動の影響を受けますので、対象とする企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合には、当該債券の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

その他の留意事項

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場および外国為替市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

ファンド名	スパークス・韓国株ファンド(愛称：韓国厳選投資)
商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2018年12月21日設定)
決算日	毎年12月18日(休日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。
お申込時間	各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	販売会社が定める単位
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、取得のお申込の受付は行いません。 ・韓国の金融商品取引所が休業日の場合 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
解約価額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
ご解約不可日	販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、解約のお申込の受付は行いません。 ・韓国の金融商品取引所が休業日の場合 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。

お客様にご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

■お申込手数料：お申込受付日の翌営業日の基準価額に **3.3%(税抜 3.0%)** を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

【ご解約時】

■信託財産留保額：なし

■解約手数料：なし

【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬：純資産総額に対して **年率 1.804%(税抜 1.64%)**

■その他の費用等

- (1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対して上限年率0.11%(税抜0.10%))
- (2) マザーファンドの組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等を、信託財産でご負担いただきます。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号：03-6711-9200(受付時間：営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

ファンドの関係法人について

●委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
(加入協会) 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社 三井住友信託銀行株式会社

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託を行います。

●販売会社 下記一覧参照

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第140号	○	○		○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第346号	○		○	○

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号: 03-6711-9200(受付時間: 営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。